

(一社)安全技術普及会主催 講習会

「機械安全等のスキルアップ講習会」開催のご案内

—機械安全に関する最新JISと協働ロボット導入の技術的要件を解説—

1. 開催日と場所

- (1) 開催日時 2020年2月21日（金）13時00分～16時40分
- (2) 開催場所 東京（品川区大井町）きゅりあん 5F第2講習室
- (3) 定員 60名（定員になり次第締め切らせていただきます）

2. 講習会の内容

機械安全（機能安全を一部含む。）に関する最新の情報として次の2講座の解説をします。

(1) 機械安全に関する最新JISの解説等

ISO/IECの規格が令和元年5月にJIS化されました。以下の最新のJISが機械安全の実務に与える影響について解説します。

- JIS B 9703:2019（ISO 13850:2015） 機械類の安全性—非常停止機能—設計原則
- JIS B 9705-1:2019（ISO 13849-1:2015） 機械類の安全性—制御システムの安全関連部—第1部：設計のための一般原則
- JIS B 9705-2:2019（ISO 13849-2:2012） 機械類の安全性—制御システムの安全関連部—第2部：妥当性確認
- JIS B 9710:2019（ISO 14119:2013） 機械類の安全性—ガードと共同するインターロック装置
- JIS B 9716:2019（ISO 14120:2015） 機械類の安全性—ガード—固定式及び可動式ガードの設計及び製作のための一般要求事項
- JIS B 9960-1:2019（IEC 60204-1:2016） 機械類の安全性—機械の電気装置—第1部：一般要求事項
- JIS B 9962:2019（IEC 62745:2017） 機械類の安全性—機械類のケーブルレス制御システムに対する要求事項
- JIS B 9971-2019機械安全に関する要員の力量

(2) 協働ロボット導入の技術的要件

最近導入が推進されつつある協働ロボットについて、導入に向けて検討を進める際の技術要件について解説します。

1. 法規制と関連安全規格
2. リスクアセスメントとリスク低減
3. 安全関連部の要求安全度
4. ISO 10218-1:2011の概要
5. ISO 10218-2:2011の概要
6. ISO/TS 15066:2016の概要
7. ISO 13849-1の概要
8. IEC 62061の概要
9. 妥当性確認
10. 今後の展望

3. プログラム

受付 12:30から

時刻		内 容	講 師
13:00 ~ 13:10	(10)	オリエンテーション	
13:10 ~ 14:40	(90)	<講義-1> 新規制定および改訂されたJIS規格類の紹介と 機械安全へのインパクト	森山
14:40 ~ 14:50	(10)	休 憩	
14:50 ~ 16:20	(90)	<講義-2> 協働ロボット導入への技術要件	大西
16:20 ~ 16:40	(20)	総合質疑とまとめ	森山 大西
16:40		閉会	

(注) 講習時間等は多少の変更がある場合があります。

4. 講師

- 森山 哲 (一社)安全技術普及会、安全技術応用研究会会員
(有)森山技術士事務所 博士(工学)、技術士(電気電子・総合技術管理)
労働安全衛生コンサルタント セーフティ・リード・アセッサ (SLA)
SSE (システム安全エンジニア、長岡技術科学大学)
- 大西 正紀 (一社)安全技術普及会、安全技術応用研究会会員
S-Tech Lab (エステック ラボ) 代表
国立大学法人 長岡技術科学大学 大学院 システム安全系 非常勤講師

5. 講習会参加費用

安全技術応用研究会会員	5,000 円（資料代を含む。税込み）
機械安全エンジニア資格更新の方	5,000 円（同上）
一般の方	7,000 円（同上）

6. お申し込み方法

お申し込みは、HP、メール（所定申込書添付）又はFAX（所定申込書）に必要事項を記入のうえ、安全技術普及会事務局事務局までお申込みください。

一般社団法人 安全技術普及会事務局

〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル

TEL 03-5769-0775 FAX: 03-5769-0776 E-mail: entry@d-sostap.or.jp